

# 2008年3月期 決算説明会

2008年4月25日

日本郵船(株)



**NYK**LINE  
NIPPON YUSEN KAISHA

# 目次

---

- 1) 08/3期 決算 (P.2 – P.5)
- 2) 09/3期 業績予想 (P.6 – P.8)
- 3) セグメント別状況 (P.9 – P.12)
  - 航空運送事業 (P.13 – P.15)

# 08／3期 決算サマリー

## 1) 売上高は2兆5千億円を越え、最高益達成。

(億円)

		売上高		営業利益		経常利益		純利益	
07/3期		21,643		1,049		1,075		650	
08/3期		25,846		2,021		1,985		1,141	
増減	%	4,203	19%	972	93%	910	85%	491	76%

2) 海運部門 : 海運業合計で 910億円の増益

3) 非海運部門 : 主要3部門合計で 46億円の増益

非海運6部門合計は±ゼロ。

4) 為替・燃料油 : (07/3期 vs 08/3期・通期平均比較)

為替レート 1.62円の円高 (116.91円 → 115.29円)

燃料油価格 \$84.00/MT高 (\$318.77/MT → \$402.77/MT)

5) 08／3期配当: 期末12円／株、年間24円／株を予定

# 前年比増減分析

円高	▲ 32	今期 115.29円 / 1.62円の円高
燃料油高	▲ 294	今期 \$402.77/ \$84.00の燃料油高
海運市況変動など	1,069	
非海運部門	▲ 5	新規連結 5億を除く
コスト削減	146	海運 122億円、非海運 24億円
新規連結	26	海運 21億円、非海運 5億円
合計	910	

## 経常利益(年間)に対する感応度

為替 1円の円安で約 20 億円の増益

燃料油 \$1/MTの燃料油価格上昇で約 3.5 億円の減益

# 08／3期・前年比較 (セグメント別)

(億円)

売上高	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
07/3月期	5,740	7,833	4,827	1,269	441	970	116	1,782	▲ 1,335	21,643
08/3月期	6,664	10,391	5,269	1,513	467	1,026	115	2,050	▲ 1,651	25,846
増減	924	2,558	442	244	26	56	▲ 1	268	▲ 316	4,203

経常利益	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
07/3月期	▲ 97	1,043	170	56	46	▲ 184	36	5	0	1,075
08/3月期	115	1,741	172	94	51	▲ 232	42	2	0	1,985
増減	212	698	2	38	5	▲ 48	6	▲ 3	0	910

(売上高)	08/3(実)	07/3(実)	増減	増減率
不定期船	9,202	6,644	2,558	39%
タンカー	1,189	1,189	0	0%
計	10,391	7,833	2,558	33%

# 08／3期・修正(1月30日発表)

## 予想比較(セグメント別)



(億円)

売上高	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
前回予想	6,630	10,300	5,510	1,490	485	1,010	110	1,950	▲ 1,685	25,800
08/3期実績	6,664	10,391	5,269	1,513	467	1,026	115	2,050	▲ 1,651	25,846
達成度	101%	101%	96%	102%	96%	102%	105%	105%	98%	100%
差	34	91	▲ 241	23	▲ 18	16	5	100	34	46

経常利益	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
前回予想	95	1,800	190	85	55	▲ 265	40	0	0	2,000
08/3期実績	115	1,741	172	94	51	▲ 232	42	2	0	1,985
達成度	121%	97%	91%	111%	93%	-	105%	-	-	99%
差	20	▲ 59	▲ 18	9	▲ 4	33	2	2	0	▲ 15

(売上高)	08/3期 実績	08/3期 1/30予想	Balance	達成度
不定期船	9,202	9,165	37	100%
タンカー	1,189	1,135	54	105%
計	10,391	10,300	91	101%



# 09／3期 通期業績予想サマリー

- 1) 業績予想: 売上高 2兆7000億(対前年比+1,154億)、  
経常利益 2,100億(同+115億)の増収増益
- 2) 海運部門: 定期船は、円高・燃料油高を運賃修復、積高増により  
吸収し、ほぼ前期並みの業績を維持(+5億)。  
不定期専用船は、市況軟化の前提でも規模の拡大や  
契約更改等で前期比微減の業績見通し(▲11億)。
- 3) 非海運部門: 航空運送事業、物流事業の改善・増益を  
中心に+121億の増益見通し。
- 4) 為替・燃料油前提 および 経常利益(年間) に対する感応度  
    為替 : 100円／ドル / 1円の円安で 約27億の増益  
    燃料油: 500ドル／MT / \$1/MTの価格上昇で 約3.5億の減益
- 5) 09／3期配当予想: 年間26円／株 (中間13円+期末13円)



# 09／3期通期業績予想

(億円)

	08／3期(実績)			09／3期(予想)			増減 通期
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	12,567	13,279	25,846	13,400	13,600	27,000	1,154 4%
営業利益	907	1,114	2,021	1,010	1,130	2,140	119 6%
経常利益	932	1,053	1,985	1,000	1,100	2,100	115 6%
純利益	550	591	1,141	700	700	1,400	259 23%

為替	¥119.64	¥110.94	¥115.29	¥100.00	¥100.00	¥100.00	¥-15.29
燃料油	\$349.89	\$455.65	\$402.77	\$500.00	\$500.00	\$500.00	\$97.23

09／3期 為替 前提 : 100円 / ドル  
 09／3期 燃料油価格 前提 : 500ドル / MT



# 09／3期・通期業績予想 (セグメント別)

(億円)

売上高	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
08/3期(実)	6,664	10,391	5,269	1,513	467	1,026	115	2,050	▲ 1,651	25,846
09/3期(予)	7,000	11,200	5,500	1,450	450	1,050	120	2,150	▲ 1,920	27,000
上期予想	3,500	5,500	2,700	740	250	500	60	1,080	▲ 930	13,400
下期予想	3,500	5,700	2,800	710	200	550	60	1,070	▲ 990	13,600
増減	336	809	231	▲ 63	▲ 17	24	5	100	▲ 269	1,154

経常利益	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
08/3期(実)	115	1,741	172	94	51	▲ 232	42	2	0	1,985
09/3期(予)	120	1,730	200	85	45	▲ 120	40	0	0	2,100
上期予想	50	830	85	45	40	▲ 70	20	0	0	1,000
下期予想	70	900	115	40	5	▲ 50	20	0	0	1,100
増減	5	▲ 11	28	▲ 9	▲ 6	112	▲ 2	▲ 2	0	115

(売上高)	09/3(予)	08/3(実)	増減	増減率
不定期船	10,050	9,202	848	9%
タンカー	1,150	1,189	▲ 39	-3%
	11,200	10,391	809	8%

# セグメント別状況 ①

## 1. 海運業 - 1)

コンテナ船: 欧州航路中心に運賃修復進む。

輸送量実績(千TEU)

	07/3期 (実)	08/3期 (実)	増減	(%)	09/3期 (予)	増減	(%)
アジア→北米	704	765	61	8.6%	834	69	9.1%
(消席率)	85%	88%			88%		
アジア→欧州	466	530	64	13.7%	676	147	27.7%
(消席率)	93%	90%			93%		

\*欧州航路は07/3期実績より域内航路を除外した為、一部Restate値となっています。

自動車船: 荷動きは08年度も順調。

輸送台数実績(万台)

	07/3期 (実)	08/3期 (実)	増減	(%)	09/3期 (予)	増減	(%)
全航路	318	353	35	11.0%	387	34	9.6%

# セグメント別状況 ②

## 1. 海運業 - 2)

### バルク・エネルギー輸送部門の市況動向

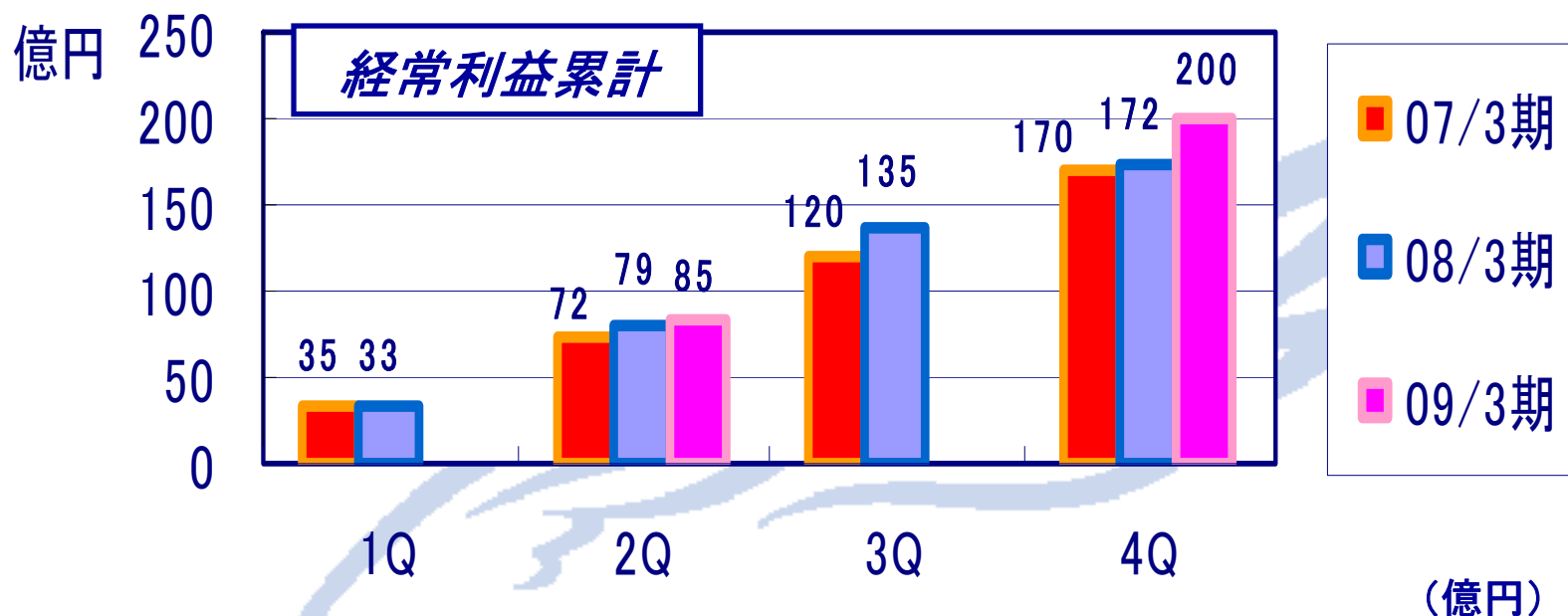
	07／3期 (実績)	08／3期 (実績)	09／3期(予想)		
			上期	下期	通期
B D I	3,750	7,758	6,100	7,300	6,700
VLCC (WS)	85	96	85	100	93

撒積船：08年度のドライ・マーケットは、07年度比では軟化するものの、高水準で推移する前提。

タンカー：タンカー・マーケットは、昨年並みを想定。

# セグメント別状況 ③

## 2. 物流事業：北米・欧州地域の収支改善へ



経常利益	07/3期	08/3期	09/上(予)	09/下(予)	09通期(予)
NYK Logistics部門	65	60	33	54	87
YAS部門	104	112	52	61	113
Total	170	172	85	115	200

# セグメント別状況 ④

## 3. ターミナル関連事業

既存ターミナルを中心に安定的な拡大を図る一方、Tacoma (米国)、上海に次ぐ新規展開を模索。

## 4. 客船事業

飛鳥、クリスタルの両ブランドともにクルーズの品質を維持しながらのコスト削減により業績の安定化へ。

# 航空運送事業(NCA) ①

## 1) 08/3期業績予想の推移と実績

	07/3期 実績	08/3期 前回 予想	08/3期 実績		
			上期	下期	通期
売上高	970	1,010	494	532	1,026
経常損益	▲ 184	▲ 265	▲ 140	▲ 92	▲ 232
MOPS	\$80	\$96	\$84	\$110	\$97

- ・ 運賃水準の底上げと整備費などのコスト削減により、前回予想を上回る売上高・経常利益を達成。
- ・ MOPSは通期平均で \$97/BBL に上昇。
- ・ 経年機材の退役を前倒し(08年8月 ⇒ 08年3月)で完了。

# 航空運送事業 (NCA) ②

## 2) 09/3期 業績予想

	08/3期 実績	09/3期 予想		
		上期	下期	通期
売上高	1,026	500	550	1,050
経常損益	▲ 232	▲ 70	▲ 50	▲ 120
MOPS	\$97	\$115		

- ・ 当期は、一時的に規模を縮小し、B747-400F x 6機でスタート
- ・ 08年6月、8月、10月および09年3月に新鋭機4機を投入予定
- ・ 統一された新鋭機材による効率運航改善と二重コストの削減により業績は大幅な回復へ

# 航空運送事業(NCA) ③

## 3) 航路別 L/F の推移

	08/3期 実績			09/3期 予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
アジア→北米	99%	93%	96%	93%	92%	93%
北米→アジア	82%	78%	80%	77%	78%	78%
アジア→欧州	98%	104%	101%	98%	99%	98%
欧州→アジア	91%	101%	96%	93%	97%	95%
日本→アジア アジア域内	72%	63%	68%	62%	58%	60%
アジア→日本	69%	81%	75%	80%	86%	83%
全航路平均	80%	81%	80%	79%	80%	79%

※ アジア→日本のL/Fには、アジア発日本経由欧米向けを含む

※ L/F = Gross Chargeable Weight/ACL (Allowable Cabin Load)